

## 2 県内図書館への貢献

・定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組 (実施状況)	実績	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県内図書館等が実施するサービスへの支援	県内図書館等への協力貸出の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民へのPR</li> <li>・市町村等のニーズ調査と貸出体制の見直し</li> <li>・小規模図書館等へのセット図書の見直し及び貸出</li> <li>・展示用コレクションの貸出</li> </ul>	協力貸出冊数【15,000冊】	市町村立図書館等の新たなニーズを掘り起こすため、テーマ別図書セット貸出サービスを試行的な取り組みとしてスタートした。併せて市町村図書館職員に相互貸借サービスの活用を呼びかけた。	15,018冊	達成率100% 評価 (5) 100%以上	9月から始めたテーマ別図書セット貸出サービスの利用は1館であった。PR不足とニーズの見極め不足が原因と思われる。今後は、市町村図書館からの意見を聴取して運用を整備するとともに、活用例等を提示して利用促進を図る。なお当初、実績への加算を想定していた「高校貸出数」と「県庁貸出数」は対象外とした。	A	協力貸出は、県立図書館による県内市町村図書館等への働きかけが重要である。市町村図書館等のニーズ把握や活用事例紹介などにより、市町村図書館等の活性化を図ることが期待される。県立図書館から貸し出された資料の傾向などを分析することにより、利用動向を把握することが必要である。
	県内図書館等への訪問の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談・打合せなど、様々な機会を捉えて訪問の実施</li> </ul>	訪問等回数 (研修以外)【20回以上】	<p>相談や情報交換会など様々な機会を捉えて、以下の訪問を行った。新型コロナウイルス感染状況等を踏まえて、時期によりオンラインに切り替えるなどして臨機応変に対応して実施した。</p> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>①5月28日 南魚沼市図書館 (訪問相談)</p> <p>②6月22日 新潟市立中央図書館 (障害者サービス情報交流会)</p> <p>③6月25日 妙高市新図書館等複合施設建設設計業務委託プロポーザル審査会</p> <p>④7月9日 訪問セミナー「地域資料の収集と活用」(田上町)</p> <p>⑤7月14日 訪問相談 (県立高田南城高校)</p> <p>⑥8月23日 訪問セミナー「地域資料の収集と活用」(十日町市図書館) オンライン</p> <p>⑦9月8日 訪問相談 (長岡市立中央図書館) オンライン</p> <p>⑧10月1日 訪問相談 (新潟薬科大学附属図書館)</p> <p>⑨10月13日 訪問相談 (出雲崎町立立雲崎図書館)</p> <p>⑩10月22日 訪問相談 (県立白根高校図書館)</p> <p>⑪11月12日 訪問相談 (村上市立中央図書館)</p> <p>⑫11月19日 県視覚障害者情報センター利用者懇談会</p> <p>⑬12月14日 次年度訪問研修についての検討会議 (県視覚障害者情報センター)</p> <p>⑭12月16日 訪問セミナー (上越市立高田図書館)</p> <p>⑮1月26日 訪問相談 (埋蔵文化財調査事業団)</p>	15回	達成率75% 評価 (2) 70~80%	一部の訪問は、新型コロナウイルス感染状況等によりオンラインで実施せざるを得ないこともあった。次年度以降も新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえながら、相談や打合せ等の機会を捉えてより多くの職員が市町村を訪問、顔の見える関係を築くことによって、各館の実情に合わせたきめ細かい支援に繋げていきたい。なお当初、実績への加算を想定していた「デジタルライブラリー撮影」は対象外とした。	D	コロナ禍による制約のもとで、オンラインを活用しながら、着実に取り組んだことを評価する。一方で、図書館が自らが設定した目標であり、年間計画のもとでの達成が不可欠である。この取り組みは、市町村図書館等が県立図書館の状況を知ることが出来る貴重な機会でもある。今後とも積極的な情報提供等を希望する。一方で、県立図書館職員には、市町村立図書館等が住民に親しまれている状況を参考にすることが期待される。また、近年では、私設の図書館・室が増えているようであり、状況把握が必要である。なお、本指標に関しては、どのような場合を想定しているのかを明確にする必要がある。「デジタルライブラリー撮影」は、明らかに「撮影」を主目的とする手段としての「訪問」であり、本指標は「相談・打合せ」を主目的とするものに限定するべきである。(デジタルライブラリー撮影については、「デジタル画像数」によって評価することが適切である。)
	県立高等学校図書館への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校への訪問相談</li> <li>・協力貸出の推進</li> <li>・連携事業の実施</li> </ul>	高等学校協力貸出冊数【50冊】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立高等学校等への協力貸出事業の改善に向けて、9月にアンケート調査を実施した。アンケート結果を踏まえ、物流システムの改善と、利用方法の簡便化を進めている。</li> </ul>	108冊	達成率216% 評価 (5) 100%以上	県立高等学校等へのアンケートを行ったことにより、相互貸借制度の理解に繋がった。また授業実践のための資料提供依頼があるなど、波及効果もあった。引き続き、県立高等学校等のニーズを聞きながらサービスの改善を図っていきたい。	A	協力貸出や学校図書館司書への支援など、改善を重ねることによる充実を期待する。私立高等学校への支援についても明示する必要がある。

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県内図書館等職員の人材育成	各種研修会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別研修等の実施</li> <li>・オンライン研修</li> <li>・訪問研修の実施</li> <li>・訪問研修メニューの改善</li> <li>・参考となる図書の紹介・貸出</li> </ul>	研修会等参加人数 (訪問研修以外) 【200人】	階層別研修や研究会にオンライン形式も取り入れ、より多くに参加してもらえるよう取り組んだ。 <実績> ①6月3日, 4日 新潟県公共図書館新任職員研修会 計36人 (会場1日目9人、2日目12人、オンライン15人) ②9月29日～ 新潟県公共図書館中堅職員研修会(配信・オンライン)計30人 ③11月30日～12月3日 関東甲信越静地区図書館地区別研修計94人 ④2月24日 県内公共図書館総合部門研究会 計28人	188人	達成率94% 評価(4) 90～100%	オンラインで開催することにより参加しやすくなるよう取り組んだが、目標にはわずかに及ばなかった。次年度も開催方法を工夫しながら、市町村図書館職員のニーズに合った研修を充実させ、県内図書館のレベルアップを図っていききたい。	B	コロナ禍においても、着実に取組みを進めたことを評価する。
			市町村訪問研修回数 【10回以上】	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一時的に研修をオンラインに切り替えるなどして臨機応変に取り組んだ。 <実績> ①6月29日 視覚障害者サービス訪問研修・基礎編(柏崎市立図書館) ②7月8日 視覚障害者サービス訪問研修・基礎編(新発田市立中央図書館) ③8月30日 レファレンス研修・郷土レファレンス編(長岡市立中央図書館) オンライン ④9月8日 視覚障害者サービス訪問研修・基礎編(佐渡市立中央図書館) オンライン ⑤9月27日 レファレンス研修・郷土レファレンス編(燕市立図書館) オンライン ⑥10月21日 視覚障害者サービス訪問研修・基礎編(上越市立高田図書館) ⑦11月12日 資料の修理や保存の基礎(田上町地域学習センター) ⑧11月19日 資料の修理や保存の基礎(阿賀町公民館図書室) ⑨11月22日 レファレンス研修・郷土レファレンス編(十日町図書館) ⑩12月6日 レファレンス研修・初級編(小千谷市立図書館) ⑪2月28日 レファレンス研修・初級編(長岡市立中央図書館) オンライン ⑫3月23日 資料の修理や保存の基礎(長岡工業高等専門学校図書館)	12回	達成率120% 評価(5) 100%以上	オンラインで実施した効果もあり、年度当初の目標を達成した。一方で、オンラインにはなじまない「資料の修理や保存の基礎」など対面式の実習や実技指導がメインのものは、一部延期せざるを得なかった。次年度以降は、感染拡大時にもできるだけ市町村の要望に応えられるよう更なる工夫を図りながら、目標の達成を目指したい。	A	障害者サービスに関する研修は、各自治体による読書バリアフリー計画の策定に向けた取組みが進められる状況下において、有意義である。障害者サービスの充実のためには、各図書館職員の障害者への理解が重要であり、視覚障害者情報センター等との協力のもとに、引き続き基礎的な研修を実施する必要がある。その他に関しても、市町村の要望を考慮し、工夫を重ねることで充実した研修を期待する。
			訪問研修メニュー数 【4】	新潟県視覚障害者情報センターとの連携による障害者サービス研修を新たに開始するとともに、レファレンス研修のプログラムを要望に応じて目的毎に再編成し、研修内容の多様化を図るなど改善に取り組んだ。 ・障害者サービス研修 ・レファレンス研修(初級編) ・レファレンス研修(郷土編) ・資料の修理や保存の基礎	4	達成率100% 評価(5) 100%以上	当初目標は年度当初に達成し、研修テーマ・内容等についても好評であった。次年度以降も新潟県視覚障害者情報センターとの連携による障害者サービス研修を基礎編・実践編と展開することによって、訪問研修メニューの多様化を図り、市町村図書館職員のレベルアップに繋げていきたい。	A	